

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	三重西濃	東京西濃	西濃通運	昭和冷蔵	エコアライアンス
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全店合計目標95%</li> <li>・2024年6月全店92.5% 目標対比▲2.5%</li> <li>※上記OCR実績抜きの数字 (課題)全5店所で90%を超えていないのが四日市支店(83.4%)</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新ハンディスキャナーの導入 (現在テスト機での動作検証中)</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点呼が対面点呼であるため、常に人員の配置が必要</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存使用していたHT(ハンディターミナル)にOCR機能を追加し、手入力による誤入力を抑止し、賞味期限切れ品の誤出荷等の重大事故を発生させない</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドを利用した集計を継続中 →特定の報告事項に関して運用</li> </ul>
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今期は上期運賃改定の実施併用してEDI化されていない荷主も併用して交渉を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AndroidOSのハンディスキャナーを導入し、スキャナー本体の交換を容易にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT点呼及び自動点呼の導入により、点呼実施者の出勤を減らすことができるようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧)入在庫予定から予定データを手入力 →検品時目視確認後データ確定</li> <li>・新)入在庫予定から予定データを手入力 →HTのOCR機能にて商品の記載日付を読み取り予定データとの相違有無を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Excel、スプレッドシートの併用した運用を中止し、集計内容により使用するソフトを区分けする</li> </ul>
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年6月90.7% +1.8%の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来使っていた本体約15万円</li> <li>・新ハンディスキャナー6万円～10万円程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月中に導入予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年9月導入以降誤入力が原因となる重大事故の発生は0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドの運用率は30%→50%にて運用</li> </ul>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残り中堅荷主の交渉が各店殆どであり、先方のシステム変更費用増等が理由で進んでいないが、月10枚前後の少額荷主も多数有り。中堅荷主は交渉の時間が掛かるので少額荷主の交渉を進め、少しでも前年より効果が出る様に指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムを開発する手間はかかったものの、汎用的なAndroidOSの本体へ乗り換える事により、今後は他社への本体乗り換えが容易になった。</li> <li>また、本体の単価を抑える事で小規模な現場への導入や、増台、故障時の入替コストも大幅に抑える効果を見込んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔点呼と共に自動点呼も導入する。本人のなりすましを防ぐため、静脈認証を取り入れ、長期休みや祝日等の点呼に自動点呼を活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人作業者でも使用出来る簡単な仕組み(システム)の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互換性によるデータ消滅等のトラブル防止</li> </ul>